



橋本市長
平木 哲朗

新年、明けましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、平成三十一年の初春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

橋本市長として、2期目のスタートとなった昨年は、今後10年間のまちづくりの道しるべとなる「第2次橋本市長期総合計画」が始まる年でもありました。

計画では、人口減少や少子高齢化など多くの課題がある中、皆さまと行政が力を合わせ、同じ方向を向き、共にまちづくりを進めることを目標としています。

これからのまちづくりは皆さまとの協働がより一層大切になります。本年は、皆さまの力を生かした「協働のまちづくり」を一層進めるため、その旗印となる「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例（略称：はぐくむ条例）」を施行いたします。この条例では、多種多様な分野におけるまちづくりの担い手となる皆さまがそれぞれの強みを生かし、また行政や市議会との協働により共に橋本市をはぐくんでいくことを目指しています。協働を進めることは、地域での見守りや介護予防、健康づくり、防災活動など多くの重要な取り組みの醸成にもつながります。

皆さまにおかれましては、橋本市やお住まいの地域に関心を持たれ、良く理解され、その情報を共有し、互いを尊重しながら、積極的にまちづくりに参画していただきますようお願い申し上げます。

今後も、一人ひとりの思いが大切にされる「元気なまちづくり」に取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



橋本市議会議長
岡 弘悟

新年、明けましておめでとうございませう。

市民の皆さまには、平成三十一年の新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

橋本市議会ではこれまで、より活発で開かれた議会を目指し議会改革に取り組んでまいりました。とりわけ情報発信においては、本会議のインターネット配信や議会報告会の開催、市議会だよりのリニューアルなどさまざまな改革をすすめ、議会をより身近なものと感じていただけるよう努めております。

本市は昨年、多くの市民の参加を得て策定した「第2次橋本市長期総合計画」に基づき、新たな市政10年の取組みをスタートいたしました。

人口減少、少子高齢の進展、価値観の多様化、また情報通信技術の発達による産業・就業構造の変革など、急速に変化する社会情勢の中、計画の推進にはその時々地域の実情、そしてニーズに対する迅速かつ的確な対応が不可欠であり、議会が果たしていかなければならない役割と責務はさらにその重要度を増しております。

これからも誤りのない議会判断により、「人輝きあたたかさ湧きでるみんなが創造する元気なまち 橋本」の実現に向けて、皆さまとともに進んでまいりたいと存じます。

今後とも皆さまの力強いご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆さまにとりまして、幸せ多い良き一年でありますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。